

2024年8月1日

月島JFEアクアソリューション株式会社

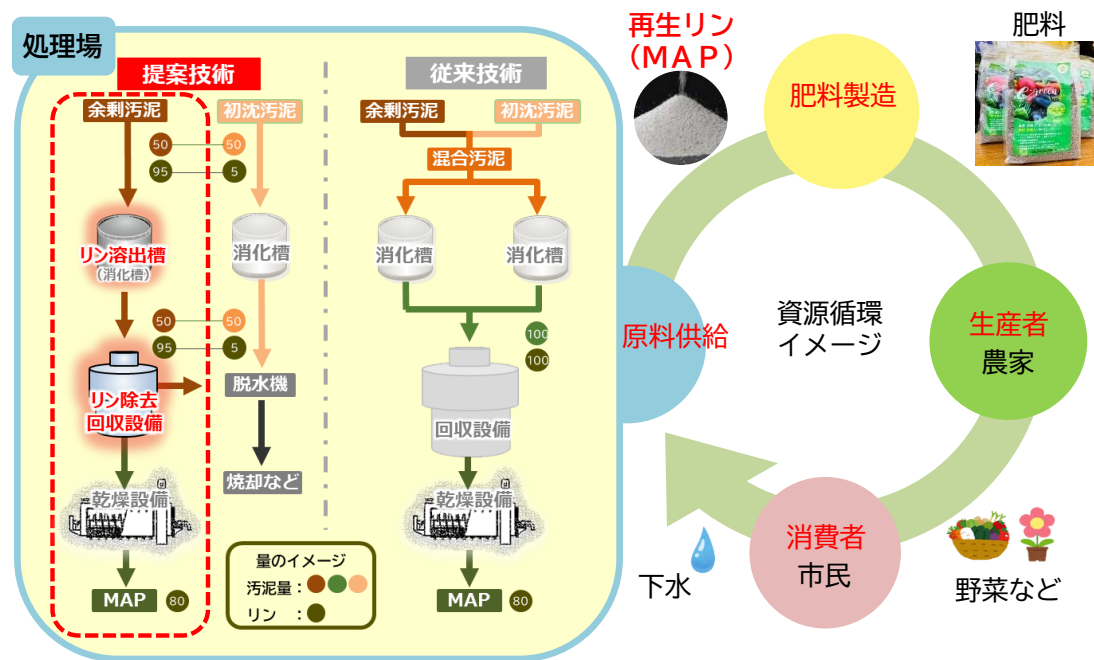
国土交通省におけるB-DASHプロジェクトの採択について
(余剰汚泥からの高効率MAP回収システムに関する実証事業)

月島JFEアクアソリューション株式会社（以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太）、全国農業協同組合連合会福岡県本部（以下、「JA全農ふくれん」、県本部長：柳 健二）、福岡市（市長：高島 宗一郎）の3者からなる共同研究体は、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）*において、「余剰汚泥からの高効率MAP回収システムに関する実証事業」を提案し、令和6年度実証研究として採択されましたことをお知らせいたします。

植物の生育には、窒素、リン、カリウムの3要素が重要ですが、これらはほぼ輸入により賄われております。近年は輸入相手国の輸出検査厳格化やロシアによるウクライナ侵攻の影響などから輸入価格が高騰しており、下水に含まれるリンを回収することは資源の安定的な確保、自給率の向上および循環型社会の構築に寄与します。

TJASを代表企業とする共同研究体は、下水処理場全体のリンの流れに着目し、リン濃度の高い余剰汚泥（活性汚泥）を単独で消化することでリンを溶出させ、水酸化マグネシウムを添加してMAP（リン酸マグネシウムアンモニウム）を生成させることで、より効率的なリンを回収する実証試験を行います。また、JA全農ふくれん、福岡市がこれまでに確立したリン肥料流通の更なる拡大を図り、下水汚泥の肥料化に貢献します。

TJASは、別途横浜市とも共同で下水からのリン回収に関するB-DASHプロジェクトに取り組んでおり、令和5年度より国土技術政策総合研究所からの委託研究として実証試験を行っております。今後も、これらの本実証研究を通して、下水からの資源回収に積極的に取り組み地域資源循環型社会の構築を推進してまいります。



実証事業 イメージ図

* B-DASH プロジェクト

国土交通省では、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト削減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）を実施しています。事業の実施にあたっては、国土交通省にて有識者の審議を経て実証事業を採択し、国土技術政策総合研究所からの委託研究として、民間企業が必要に応じて地方公共団体や大学等と連携しながら実証研究を実施しています。

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報室

TEL 03-5560-6503

以 上